

水・大気環境局 大気生活環境室

## 1. 事業の概要

熱中症による健康被害を防止するため、高温環境の指標であるWBGT (Wet Bulb Globe Temperature (湿球黒球温度)) の予測値を用い、インターネットを通じた熱中症予防情報の提供を行う。

また、観測装置を用いてWBGTのモニタリングを行い、予測値の補正を行いながら予防情報の精度向上を図ることに加え、ヒートアイランド現象による熱ストレスが顕著な地域において、WBGTのモニタリングポイントを増強(現在6箇所 14箇所)し、よりきめ細かな熱中症予防情報の提供を行う。

## 2. 事業計画

	H19	H20	H21	H22	H23
熱中症予防情報の提供及びモニタリング					

## 3. 施策の効果

ヒートアイランド現象が顕著に見られる地域においてWBGTのモニタリングポイントを増強することに加え、インターネット等を通じて熱中症予防情報を提供することにより、熱中症による国民の健康被害を未然に防止することができる。

## 4. 備考

(内訳)

熱中症予防情報の提供とモニタリング

29百万円

# 熱中症予防情報の提供・モニタリング

全国 6 箇所でWBGTを実測

インターネットを通じ、WBGTの実測値及び予報値（都道府県毎）を提供

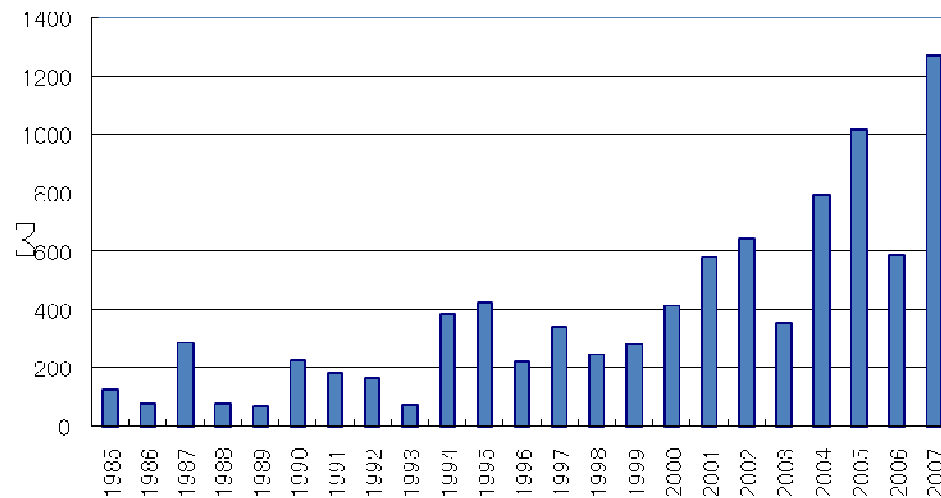


新たに...

WBGTの実測地点をヒートアイランド現象が顕著に見られる地域を中心に**14箇所**に増強

WBGTの実測値等のよりきめ細かな情報提供の実施

東京都内の熱中症による救急搬送人員(夏季)  
1985~2007年



出典 東京消防庁提供資料及び国立環境研究所熱中症患者情報サイトより作成

熱中症患者数の推移

